

2020 年

受験体験記

T

私が入並みな受験勉強を始めたのは小学 5 年生からでした。

4 年生のときはダラダラと家で姉達のお古の予習シリーズをやり、月 1 回で四谷大塚の模試を受ける、というものでした。

サピックスや四谷大塚も考えましたが、お試して行ってみたとき「ここに通いたい」と思えなかったので、入るのをやめました。母は塾の送迎がないことを喜んでいました。

4 年生の冬に南雲国語教室を知り、5 年から入れることになりました。

南雲先生の教室はとても雰囲気が柔らかくて授業も面白くて、毎回とても楽しかったことを覚えています。そのお陰で、それまで「まあまあ」だった私の国語の成績は徐々に伸びていきました。でも他の科目（算数・理科・社会）は模試の結果も今ひとつでした。

その後 5 年途中で小川先生（理科）、6 年になって坂本先生（算数）を紹介して頂き、自己流の家庭勉強よりも成績が伸びていきました。（たまに下がりましたが…）

坂本先生の算数は分かりやすいけれど難しくて、私はときどき頭が真っ白になり停止しながらも、必死について行きました。家に帰ってからも先生のノートとプリントを母と何度もやり直しました。

6 年生の夏休み前まで、家で勉強していたのはただただ、ずーっと算数でした。母が「理社は後でも間に合う」と言ったからですが、このせいで最後は「これはヤバい！」と理社ばかり大急ぎでやり続ける事になりました。特に社会は必死に頭に詰め込んで、同時並行で理科と算数、疲れると国語で癒し…。

でも、理科と算数、国語は非常に良い先生に恵まれていたので、大変ではあっても苦痛ではありませんでした。

しばらくは桜蔭中学を目標に頑張っていましたが模試の結果も悪く悩んでいたとき、豊島岡の文化祭を見に行き、「ここに行きたい！」と強く思い、目標を切り替えたのが 11 月。どう見ても遅い私の志望校決定…(笑)。

それからはひたすら過去問をやりました。豊島岡の入試問題は、桜蔭よりも算数は易しく

理科は難しく、慌てて理科ばかりを集中的にやったりして、最後の最後までバタバタでした。

豊島岡の入試は2月2日から。受かるかギリギリだったので、2月1日は安全校にして合格を確保しておくことにしました。1月は浦和明の星を受けましたが算数が不調で、案定の不合格。

2月1日は得意な国語の文章がサッパリ分からず、合格できたのか？不安なまま、本命の2日豊島岡に挑みました。

2日の豊島岡は算数の手応えが悪く不安でたまりませんでした。幸い、国語や理社も良く出来たと思えたので幾分安心しましたし、前日に小川先生から届いたお手紙と電話を思い出し、心強くなりました。

試験を終え、待っていた両親と帰りにハンバーグを食べて帰り、夜の合格発表を待ちました。

算数ができなかった気がしたので不合格をほぼ確信して、翌日の入試に気持ちを切り替えて勉強をしながら心のドキドキを抑えていました。

そして夜7時。私は画面に自分の受験番号を見つけられず、泣きそうでした。

「やっぱり無かった…」と言って母にスマホを返そうとしたとき、自分のスマホで発表サイトを見ていた父が、「え、あるじゃん」。

「その冗談は酷いよ！」と思いつつも、もう一度よく見直すと、そこに確かに私の番号が…！

私は嬉しさよりも驚きで凄く動揺しましたが、何度見直してもやっぱりそこにあるのは受験票と同じ私の番号で…！！！！

その後はガクガクと震えてしばらく声になりませんでした。

南雲教室でお世話になった先生方3人に心からお礼を言いたいです。

南雲教室がなければ私の合格は絶対なかったと思います。

本当にありがとうございました！！！！

※ 他教科の授業は、現在行っておりません。(南雲)